



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 63-1151

会長：越野 民男 幹事：浅田 豊久

情報委員長：清水 忠

1975・10月16日 第51号

流行と友禪

金沢美大教授 梶山 伸 先生



加賀友禪は九谷焼と共に石川県を代表する伝統工芸として、不況の中で珍しく生産が追いつかぬほどのブームを呼んでいる。

友禪染は、江戸承応の頃、従来の加賀に梅染に、宮崎友禪齋が京都の優雅な手法を導入して確立したといわれ、手書きの絵模様と更紗調の色彩と、模様をくまどる色目どりの流麗さに、際立った特色を持っている。

さほど実用性のない、しかも驚くほど高価な友禪に、どうして人々の人気が集まるのだろうか。

私はそこに、“物” から “心” へ、人の求める流れの推移を思ふ思いがする。

あえて友禪に限らない。

日本的伝統や手づくりの美への郷愁—それは、高度成長の中で大量安価に生み出された商品ではなしに、心と技でじっくり磨き上げられた芸術品を求めてやまない人心のあらわれであろう。

—金沢北RC例会卓話より— (文責 清水 忠)



卯辰山碑林散歩 (23)

—画家高村右暁筆塚—

小坂神社の鳥居をくぐり、石段を登ろうとする所に、うっそうとした楊の木の下で仙台石に造られた一基の筆塚がたたずんでいる。

右暁は慶応3年金沢に生る。四條流の日本画家として著名であり、郷土の美術界発展に尽力した。昭和29年没。

裏面には句が刻まれている。

“水すみし 石に声なし 秋の風、”

八十八翁 右暁

ヨーロッパ旅行を終えて

山田 充君

僕は、第一回ベルギー交換学生として、ヨーロッパ諸国を回ってまいりました。しかし旅行中は国外を出て遠方へ来たというので特別な感動は起きませんでした。最近になって、ヨーロッパの国々の美しさ、それに増してヨーロッパ人の親切に触れることができ大へんうれしく思い、そして大へん感動している毎日です。ヨーロッパの景色の美しさというのは、名所だけにいえることではなく、街の中・あるいは田舎の広い畑の景色に至るまで全て、美しさで満ち溢れていました。

そしてまた、その美しさというのは、日本の落ち着いた美しさとは少し異った面が多かったように感じられました。その事がまた一層私を美しく感じさせたのかもしれない。

これは、私だけでなく他の方々も同じように感じられたのではないかと思います。このような事は目で感じられるものですが、やはり、一番感じることでできるものは心です。



ヨーロッパ人の心を知るには、単なる観光旅行では、絶対といっていい程、できないことだと思います。しかし、この旅行では、文字通り交換学生として、一般の家庭へ引きとられて行き、一緒に生活をおくることができ、観光旅行には、ないものを味わうことができ大へんうれしく思っています。ヨーロッパ人の心を知るには、やはり家庭滞在中のことを書くことが一番だと思います。

私の最初のホームスティは、アレキサンダーさんのお宅でした。彼の職業は、医師で大へん

やさしい人で彼の夫人もやさしい方でした。そのことは、彼らが大へんゆっくりと英語を話されたということからもわかってもらえると思います。彼らには三人の子供がいましたが三人が三人とも聞きわけのよい子たちでした。私とそして同じホームスティをした釜谷さんは、なにをするにも彼らの許可を請るようにしましたがいつも「君たちの家でやっているようにしてください。」というのです。これは、けっして彼が我々に対して無責任な態度をとっているのではありません。きっと、彼は広くいえば私たちの主義・主張を尊重しているのだと思います。そして、これはヨーロッパ人が言っている個人の尊重につながるのではないのでしょうか。今の日本は、この個人の尊重という意味をとり違えて、自分の都合の良い方をとっているのではありませんか。また、私はとかく外人は派手好きなのではないかと考えていましたが意外と外人の人々は、そのようなことがないので驚きました。

このように我々日本人は、外側から見た外人しか見ていないのではないのでしょうか。また反対のこともいえるように思います。

こうして私は、多くの事を学び、見聞でき、貴重な体験ができたことを感謝しています。

職業奉仕委員会よりご案内

次の職業奉仕に関する出版物を事務局に用意してあります。是非御利用下さい。

1. 奉仕こそわがつとめ (1部)
2. あなたは「奉仕こそわがつとめ」を読みましたか? (3部)
3. 事例ととりくみましよう (3部)
4. 親切競争を行なう方法 (3部)
5. 職業奉仕で我々は何をなし得るか (3部)
6. 青年のための職業情報 (3部)
7. 四つのテストの適用 (3部)
8. ロータリアンとその同業組合(英文) (1部)
9. 職業奉仕採点用紙 (50枚)

私のロータリー手帖から（４） 小松RC20年

柴田 三郎

小松RC創立20周年の催しは、清涼の9月28日に行われた。越野会長、宗田副会長、浅田幹事、高田理事の諸公が参加して敬意を表した。近隣クラブのこうした行事に参加するのは意義ある友好であり、礼儀でもあろう。幸い私も同行を得て、ひとしお感慨を深めた。

小松は昭和30年8月11日、金沢RCに次ぐ県内2番目の創立。このあと1週間後に七尾が誕生したのである。矢つぎ早にこの大役を事もなげにやっけてのけたのは、今は亡き時の金沢RC会長嵯峨さん（北国新聞社長）である。しかも、その秋には金沢がホストとなって地区大会を金沢に開催のテンヤワンヤの時であった。嵯峨さんの指導力、牽引力の偉大さが偲ばれて止まない。

小松の創立には、金沢RCの江川昇さん（当時金沢商工会議所専務理事）並びに、小松の初代会長となった河村栄太郎さん（故人）、同幹事となった竹田一郎さん（当時北国新聞支局長）らの熱意が、この結実に大きな力となったが、今は、それらを知る人は少なくなった。私は、嵯峨会長のもと幹事をつとめたのであるが全く非力であった。が、その前後に河村さんとは金沢で小松で何回も出会って懇談したので、河村さんは若き私に対し「先生」と呼ばれるのには閉口した。河村さんはお医者さんで、医博のほか、文学博士をも持った文化人でもあり、ほんとうの先生であったが、天真らんまん、きさくな人であった。小松の基礎づくりの功労者で、初代、2代、3代、6代と4度び会長重任の、全国稀れなる方で、草創時代の小松は何もかも先生におんぶしつつ、引きづられて行ったのが、ほんとうではなかったろうか。

小松の創立総会の日、素封家園山武平邸の2階の一室に並べられた、同家秘蔵の古九谷の数々なる逸品を拝見したのは未だに忘れられない素晴らしき憶い出となっている。披露宴は小松の料亭丸屋(?)で行われ、此処で小松のチャーターメンバーと金沢の一行で記念撮影したのが、こんどの記念誌に載っていて、なつかしい20年を回顧した。金沢の顔触れには嵯峨保二、岡田良介、鳥嶋徳次郎、岸加八郎、平野芳泰、桜谷三次郎、土橋茂三郎、高田甚造さんなどの故人があり、中宮茂松、福光博、吉田茂平、真柄要助、加藤義一郎の諸氏の中に、私の顔も発見、20年の歳月の長さや重さを痛感し、しみじみ無量の感を禁じ得ない。

小松の創立20周年式典と、それに続く懇親会はシンプルに行われ、記念事業として、「平和の紅梅林」「小松市ロータリースポーツ賞基金」「ロータリー財団拠金」などに合せて150万円を寄せたのは立派である。記念誌「20年の歩み」は内容豊かなる編集である。この日特に印象に残ったのは竹内小松市長の祝辞と、村松式典幹事のクラブ20年の解説であった。

竹内市長さんは、ロータリアンでないのにロータリーを知り尽した挨拶をされたのには敬意を捧げたい。その中に、かつての日本は「義務と忍耐」の時代であった。今は「権利と要求」そして、やがて「連帯と奉仕」の時代……と、ロータリーの活動と発展を祈ると結ばれたのは忘れられない。村松さんは20年間における毎年度のクラブ事業の報告に併せて、時の世界情勢、国内の出来事、当事を偲ぶに好適なる流行歌の紹介など、名調子に順を追って述べられたのは、さすがジャーナリスト、えらく時間を気にしつつの進行であったが、この20年の歩みこそ、今日の最も意義あるプログラムの筈、もっと時間をかけて然るべき……と、私は思った。

小松は、私の分区代理の時「能美RC」を誕生せしめて、長かった子無しの汚名を返上。その後地区協議会、地区大会も見事に実現されたが、益々の内容充実を祈るや切。

第101回例会 創立記念例会（夫人同伴）

- ◆10月2日(木)雨 ホワイトハウス 18:30~20:30
- 講話 “流行と友禅”
染色作家 梶山伸氏
 - 出席 会員 出席29名、欠席13名
出席率69.05%
夫人 20名
 - 来訪者 (益の部受付)
七尾RC 木地一郎君
金沢RC 山田政一君、直山樞一君
山口益弘君、中村栄俊君
金沢東RC 浅田裕久君、足立信也君
金沢西RC 坂本宗一郎君
金沢南RC 清水誠三君、沖野太作君
金沢北RC 加藤悦大君、小杉守男君
 - 会務 ○例会委員会
年間皆勤賞顕彰
2ヵ年 浅田君以下24名
○社会奉仕委員会
“街頭交通推進隊感謝の夕べ”について
日時 10月25日(土) 18:00~
場所 ホワイトハウス
出席義務者 会長、副会長、幹事、
情報委員長、社会奉仕委員
 - 御誕生日祝 米沢修一君、木島光仁君、清水忠君
大海徳二君、宗田市太郎君
 - 御結婚記念日祝 木島光仁君、宗田市太郎君
清水忠君、吉田昭炳君、山田安隆君
加藤悦大君、小林隆二君、釣見栄一君
 - 例会変更お知らせ
金沢南RC、10月21日(火)の例会は、時間を18時30分からに変更致します。
 - 六角堂に於いて創立記念懇親会開催
 - 今日のニュース ご訪米の天皇皇后両陛下は、米建国の古都緑のウイリアムズパークで休日を楽しまれた後、ワシントンでフオード大統領をはじめ米国民の温かい歓迎を受けられる。

第102回例会

- ◆10月9日(木)雨 ホワイトハウス 12:30~13:30
- 創立2周年記念講演
講師 東京南RC会員 安積得也先生
演題 “医学辞典にない3つの現代病”
 - 出席 出席27名、欠席15名、出席率64.29%
 - 来訪者 加賀RC 野口稔君
輪島RC 中屋福吉郎君
東京南RC 安積得也君
金沢RC 坪野俊雄君、北川晶夫君
福島久太郎君、斉藤隆三君
門田正君、村田義栄君、竹内外茂君
金沢東RC 新名健吉君、矩幸成君
山上嘉久君、更田康彦君
長瀬和夫君、島田正雄君
上野彦助君、深井正敏君
堀内邦次君、藤井健君、鈴木菊男君
金沢西RC 黒川存君、北川正信君
野崎弘君、坂本外茂雄君
通善直次郎君、大沢欣伍君
金沢南RC 小林博君
 - 会務 ○社会奉仕委員会開催
本日例会終了後 於ホワイトハウス
○例会委員会
RI第361地区年次大会について
10月18日(土)、午前9時30分山岸製作所前より、レンタカーで出発します。
 - 幹事報告 ○金沢5RC合同懇親ゴルフ大会について
日時 10月4日(土)
場所 千羽平ゴルフクラブ
当クラブからは松本、岡部、塩村、山上由井会員の5名が参加した。
○七尾RC創立20周年記念式典開催
日時 10月10日(金)
場所 能登信用金庫本店ホール
出席者 越野会長、山上会員の2名
○米山奨学会より、事業報告書受領。
○石川県肢体不自由児協会より「愛の年賀はがき」協力願書受領。
 - 今日のニュース 値上げ三法案をめぐる与野党対立のため、再開国会は足踏み、年内解散の機運高まる。

9月例会出席状況

(100%) 皆出席16ヶ月

会員名	月日	9/4	9/11	9/18	9/25	9月	会員名	月日	9/4	9/11	9/18	9/25	9月
浅田 豊久		○	○	○	○	◎	大海 徳二		○	○	M	M	◎
東 元 潔		○	M	○	○	◎	大村 精二		○	○	○	○	◎
平尾 信明		○	○	○	○	◎	桜井 健太郎		○	M	○	○	◎
本江 他美夫		○	M	○	○	◎	柴田 三郎		○	○	○	○	◎
泉 武 義		○	○	○	○	◎	清水 忠		○	○	○	○	◎
上 次 作		○	○	○	○	◎	塩村 喜代次		○	○	○	○	◎
笠間 恒次		M	M	○	○	◎	庄田 厚郎		M	○	○	M	◎
加藤 悦大		M	M	○	○	◎	高田 全		○	○	○	M	◎
木田 忠男		M	○	○	M	◎	俵 外代吉		○	○	○	○	◎
木島 光仁		○	○	○	○	◎	土原 一二		○	○	○	○	◎
小林 隆二		○	M	○	M	◎	釣見 栄一		○	○	○	○	◎
越野 民男		○	○	○	○	◎	若野 三朗		○	○	○	○	◎
小杉 守男		○	○	M	○	◎	山田 淳		M	M	○	M	◎
小杉 善二		M	○	○	○	◎	山田 安隆		M	M	○	M	◎
松本 智		M	M	M	○	◎	山上 啓介		M	M	M	○	◎
宗田市太郎		○	M	○	○	◎	山岸 与作		○	○	○	○	◎
長野 幸雄		M	M	○	○	◎	米沢 繁男		M	M	○	○	◎
中村 省三		○	○	○	○	◎	米沢 修一		○	M	○	○	◎
大場 勝雄		M	M	○	○	◎	吉田 昭炳		○	○	○	○	◎
岡部 三郎		M	M	○	○	◎	由井 賢一		○	○	M	○	◎
岡田 林太郎		○	○	○	○	◎	吉山 宥海		○	○	○	○	◎